

夏祭り・盆踊り大会 老いも若きも踊りの輪が二重になって

晴天に恵まれた8月3日(土)夏祭り盆踊り大会を開催しました。幕開けは保育園児、子ども会による神輿、その列の後ろに「みどりっこちゃん」も登場しました。

今年も模擬店は大盛況。盆踊りは小さなお子さんから少し足の不自由なお年寄りも一緒になり、多くの踊り子で踊りの輪が二重になって楽しみました。



学生たちが地域と向き合う時に 中部学院大学 私も地域のために何かしたい

—中部学院大学教授・飯尾 良英先生

先日は、本学の「美濃と飛騨のふくし」にご出講いただき誠に有難うございました。この講義は、全学部、全学年を対象に、基礎科目として開講されている正規の授業です。前期に16回の講義を行います。その内の一つにお出でいただきました。

この授業は、学生たちが「地域」と向き合うことを目的にしています。高校卒業から20歳代は、地域とのかかわりが一般的に薄くなりがちです。また、就職や結婚など、人生の大きな転機を迎える時期でもあります。そのような時、「地域人」として、地域と自分のかかわり、地域に対して何ができるか、地域を理解し考えるきっかけをつくることをねらいとしています。

前期16回の講義では、岐阜県内の行政機関、NPO、ボランティア、企業、自治会の皆さんからお話をうかがいました。いずれも学生にとって、地域を考える良い機会になりました。なかでも芥見東自治会連合会の皆さんのお話は、身近なお話で分かりやすく、自然に引き込まれていました。どの学生も自治会や町内会を知っていても、活動の内容にはほとんど関心がなかったものと思います。しかし、お話のなかで、役員皆さんの、地域のために奮闘されている様子をお聞きして、地域は住民や役員の皆さんの努力によって維持されていること、安全安心な地域をつくるために、住民が力を合わせなければならぬことなど、多くのことを学ばせていただきありがとうございました。

最後になりましたが、皆様のご健康と貴地域のますますのご発展をお祈りいたします。 □ ■

—子ども学部2年・K Oさん

コミュニティバスの運行にあたって、利用者の意見が含まれていることに驚きました。運行する前、地域でアンケートを行ったところ、コミュニティバスを導入してほしいと答えた人が70%あって、地域の人の願いがかなえられたものだとわかりました。

乗客の数はほぼ一定で、6月は一日に192人もの方が利用しており、1ヶ月で5,785人にも及ぶことが分かりました。「みどりっこちゃん」の着ぐるみも可愛かったです。

その他の取り組みとして、地域の役員さんが手作業で「自治会だより」を発行していることがわかりました。配るところまで役員さんがやっているそうで、とても感動しました。

小学生の登下校時間の見守りや車での青パト活動もされていました。見守りの際には、目立つ色の服を着るようにしていると聞き感心しました。

里山整備の写真は、里山がきれいな姿になっていて驚きました。定年を迎えた人や、中学生も参加し、幅広い世代層で活動をされていました。

お忙しいなか大学までたくさんの役員さんに来ていただき、地域の様々なお話を聞くことができ、普段何気なく通っている身近な芥見東での取り組みがわかりました。私も時間があれば身近な地域のために何かしたいと思いました。 □ ■



配布

大洞

4-77

東山

4-50

北山

38-362

コモン北

5-89

桜台

23-335

桜市

40-277

柏台

31-328

柏市

26-197

桐丘

23-195

桐市

6-39

紅葉

21-266

紅市

16-115

桜2P

1-25

計 237

/2355

郷愁 「地元に戻ろう」と思う環境を

—大洞支部・加藤 英優さん

NHKの連続テレビ小説が好調だそうです。我が家も夫婦揃って大ファンで、欠かさず見えています。ドラマに出てくるアイドルグループGMT5が「地元に戻ろう」という曲でデビューしますが、この曲がなんと素朴で郷愁を誘います。



地元に住み続けている私が、郷愁を誘われるというもおかしな話ですが、私が幼少期を過ごした地元の面影は今ではわずかしか残っておらず、地元に住みながら地元で郷愁を感じるのも、無理のない話かもしれません。

地元の思い出といえば、古い友人の存在を欠かすことができません。私にも、地元に住んでいる同級生が何人もいますが、面倒見の良いK氏のおかげで、ミニ同窓会を不定期ながら長年に渡って継続しています。

自治会活動に携わる中で、この地を離れて暮らす人たちが、地元へ帰ろうと思えるような環境を少しでも多く残すことができたらと思うようになりました。 □■

新しい発見 ウォーキングを始めて

—芥見東自治会連合会理事・長屋 時由

今年の1月から体力づくりとして、ウォーキングを始めました。初めはただうつむきかげんで歩くだけで精一杯、周りの風景を楽しむこともなく歩いていたが、今は歩く姿勢を気にするようになり、最近読んだ雑誌には「30メートル以上先の目標物をぼんやりと見るようにすると自然に視線が上がる」と書かれていて、良い姿勢で歩くことが大切だと解りました。



良い姿勢で歩くことで、今まで気が付かなかった山菜などの発見や、朝の時間帯ではゴミ袋を持ってウォーキングしながらゴミ拾いしている人、法面の草刈りをしている人、夕方は小中学生の下校時交通整理をしながら優しく子どもたちに声をかけている「ふるさと良くし隊」の方々、色々な人の動きがある。これが安心安全につながっていると思う。

これからも、色々な発見を探しながら体力づくりのためにも長くウォーキングを続けたい。 □■

民生委員 頑張らず あきらめず 支え合っ

—桜台支部・寺井 満智子さん

早いもので3年の任期が終わろうとしています。「心配事や悩み事ひとりで抱えず、いつでも相談してください」と、初めは義務感ばかり膨らませて、65歳以上の世帯の方々に声をかけて歩きました。思えば思われるで、いつしか皆さんとも打ち解け「暑い中をありがとう」と笑顔でねぎらってくださる言葉に大きな励ましをいただきました。



一方、個人情報保護の壁は厚く、聞き上手に徹した姿勢でいたいし、こんな力不足の私に、“大事”が起きたら何が出来るのだろうかとしばしば考え込みました。

今地区ごとのふれあいサロンや子育て支援活動に続き、近隣見守り愛チーム作りに命のバトン、小さな手助けと、絆を深め支え合う動きが大きくなり始めています。民生・児童委員にとっても、大きな肩を貸してもらえようような心強さを感じている昨今です。 □■

夏祭り 初めての夏祭り運営に思う

—桜台市営自治会長・原田 勝利さん

毎日暑さが続き皆様も大変だと思いますが、私も頑張っております。さて私は、今期初めて自治会長と副支部長を務めさせていただくことになり、当初出来るかどうか非常に心配でした。

6月の防災訓練も終わり一息と思っておりましたが、8月は、夏祭りだ！大丈夫かな・・・心配でしたが、前日の準備はスムーズに完了、いい感じ！！ところが、夕方店舗準備が始まると直ぐに問題が発生しました。それは、出店準備でリーダーが居るような居ないような！連合会の担当者は決まっていますが、現場(出店)には常駐していないのです。また誰が何をやるなど計画書がありません。全てその場でブツケ本番??? 上手く運営できる訳がありません。

初めての方が多く中、運営するのですから考えなくてはなりません。最終的に不公平な時間や配置となり非常に嫌な思いをしました。他のお店の担当に聞いたところ、店舗運営計画書が作成され配置から休息まで決められていたと聞きガッカリしました。

来期は、是非反省点として全ての店舗において前もってリーダーを決め、詳細計画を立て実施してもらいたいと感じました。 □■